

ウィーン万博150周年記念

ウィーン ウィーン木管五重奏団



ウィーン・フィルなど、ウィーン屈指の管弦楽団で活躍する奏者であり古くからの音楽仲間5人によるアンサンブル。
県内の中高生との共演で、ウィーンと静岡の音楽交流も。

曲目

【第一部】 県内の中高生と共演

- J.シュトラウス二世：喜歌劇「こもり」序曲
- W.A.モーツァルト：フルート協奏曲 第2番 KV314 より
(独奏：マティアス・シュルツ) 他

【第二部】

- W.A.モーツァルト：「フィガロの結婚」序曲
- J.ブラームス：ハンガリー舞曲第6番
- G.リゲティ：6つのバガテル 他

出演

ウィーン木管五重奏団

- マティアス・シュルツ (フルート)
- ユリア・ツールス (オーボエ)
- クリストフ・モーザー (クラリネット)
- ヨハネス・カフカ (ファゴット)
- ヨナス・ルードナー (ホルン)

共演：静岡県立清水南高等学校・同中部 管弦楽部
静岡県立清水南高等学校 芸術科音楽専攻

音楽ナビゲーター

- 岡部武彦



※出演者・曲目は変更になる場合がございます。

全席指定

一般 3,000円 子ども・学生 1,000円

グランシップ友の会先行販売：7月2日(日)～8日(土)

一般発売：7月9日(日)～

- ※子ども・学生は28歳以下の学生、未就学児入場不可
- ※公演一週間前に残席がある場合、定価より2割引となります。(子ども・学生は除く)
- ※グランシップ友の会会員特典対象事業

チケット販売・お問い合わせ |

グランシップチケットセンター

TEL.054-289-9000 (10:00～18:30 / 休館日は除く)

グランシップホームページから空席状況に応じて
お好きな席を選んで購入できます。(コンビニ引取手数料無料)

<https://www.granship.or.jp> 最新情報はこちらから▶



2023年10月6日(金) 18:30開演 (18:00開場)

グランシップ 中ホール・大地
(JR東静岡駅南口隣接)

主催：公益財団法人静岡県文化財団、静岡県
後援：静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京、ウィーン国際文化協会
協力：一般社団法人ウィーン国際音楽文化協会

オーストリア文化フォーラム

GRANSHIP
Shizuoka Convention & Arts Center

東アジア文化都市
2023 静岡県
Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA

ウィーンの風 ～ ウィーン木管五重奏団

今年は1873年に開催されたウィーン万博からちょうど150年にあたる記念すべき年です。ヨーロッパではコロナ禍から解放され、以前にも増して人々の生活が活気に溢れ、コンサートに足を運んでくれる人も多くなりました。ウィーン万博時代に活躍した作曲家の作品、なじみの深い曲を取り入れながら皆さんに音楽の都より“ウィーンの風”をお届けする楽しいコンサートにしたいと思っています。

皆さんとお目にかかれることを今から楽しみにしています。

マティアス・シュルツ

ウィーン木管五重奏団

マティアス・シュルツ (フルート) *Matthias Schulz*



ウィーン国立歌劇場管弦楽団
ウィーン・フィル奏者(ゲスト)
ウィーン国立音楽大学にて父親でありウィーン・フィル首席フルート奏者故ヴォルフガング・シュルツ教授の元で学ぶ。数多くのコンクールで優勝。ザルツブルグ音楽祭、ザルツブルグ・モーツァルト週間等に出演し、ソリストとしてはウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団、ザルツブルグ・モーツァルト管弦楽団、リンツ・ブルックナー管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、新日本フィルと共演。室内楽では数多くのCDがリリースされている。これからのウィーンのオーケストラを担う若いソリスト達により結成されたパオレ・ウィーン木管五重奏団のリーダー。

ユリア・ツールス (オーボエ) *Julia Zulus*



ウィーン国立歌劇場管弦楽団
ウィーン・フィル奏者(ゲスト)
ウィーンに生まれウィーン国立音楽大学にてクラウス・リーンバッハー教授に師事。その後、ウィーン・フィルのハラルド・ヘルス教授に師事。フランス・リヨン国立高等音楽院にてジャン＝ルイ・カベツァリ、ジャローム・ギシャール教授に師事。在学中に東京財団より奨学金を得る。ウィーン・フィル、ウィーン交響楽団等主要オーケストラと共演。室内楽ではヴェーベルン木管五重奏団のリーダーとして、ニューヨーク、ブダペスト、テヘランやウィーン楽友協会、東京のサントリーホール等でも演奏。フランス・マルセイユでのアンリ・トマジ木管五重奏国際コンクールでは3位。2014年からウィーン国立歌劇場管弦楽団オーボエ奏者。

クリストフ・モーザー (クラリネット) *Christoph Moser*



ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団首席奏者
ウィーン国立音楽大学教授
18歳よりクラリネットを始め、アントンブルックナー私立音楽大学、及び、ウィーン国立音楽大学にてヒンドラー教授に師事。また、ウィーン国立音楽大学でジャズも学ぶ。学生時代に数々の賞を受賞し、卒業と同時にドイツのオーケストラに入団。その後、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場、NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団、シュターツカペレドレスデン、ウィーン放送交響楽団、モーツァルテウム管弦楽団等と定期的に協演。国際コンクールで審査員を務める他、2013年よりウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団で第1クラリネット奏者を務め、2017年よりウィーン国立音楽大学にてクラリネット科教授を務めている。

ヨハネス・カフカ (ファゴット) *Johannes Kafka*



ウィーン国立歌劇場管弦楽団
ウィーン・フィル奏者(ゲスト)
リンツ・アントンブルックナー市立音楽大学で学んだ後、2008年よりウィーン国立音楽大学にてシュテファン・トルノフスキー教授に師事。リンツの学生時代には指揮法、合唱指揮法も学ぶ。国・州主催コンクール“プリマ・ラムジカ”で数多くの部門で入賞。ソリストとしてはリンツ・ブルックナー管弦楽団等と共演。ザルツブルグ音楽祭等、数々の音楽祭にも出演。若い音楽家で結成されたウィーン・プラス・コネクションのリーダーも務めている。2010年からウィーン国立歌劇場管弦楽団ファゴット奏者。

ヨナス・ルードナー (ホルン) *Jonas Rudner*



ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団首席奏者
14歳の時よりホルンを当時のウィーン・フィル首席奏者、ギュンター・ヘグナー教授より習い始め、ウィーン市立音楽大学にて学んだ後、2000年よりウィーン国立音楽大学にてローランド・ベルガー教授、トーマス・ユプストル教授に師事。ウィーン・フィル、ウィーン交響楽団等のオーケストラで演奏。演奏旅行も数多く、日本、韓国、中国、オーストラリア、ヨーロッパの各地にて演奏。ウィーン・フィル、ベルリン・フィルメンバーとのCDも数多く出しており、パオレ・ウィーン木管五重奏団のメンバー。日本には指揮者、佐渡裕氏から依頼を受け、プロジェクト参加の為にホルン奏者として来日。2007年からウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団首席ホルン奏者。

音楽ナビゲーター

岡部 武彦 *Takehiko Okabe*



音大音楽科卒業後、ウィーン国立音楽大学音楽科を特待生として修了。イタリア・ミラノにて研鑽し、その後、スペイン・バルセロナへ。15年間にわたるヨーロッパ生活にピリオドを打ち帰国。近年は海外の歌劇場、音楽事務所、音楽アドバイザーの他、ウィーン少年合唱団、ウィーン国立歌劇場、及び、ウィーン・フィルメンバー等とのコンサートを行っている。

西武文理大学特命教授。山梨県立大学客員教授。ウィーン国際文化協会第一副会長(ウィーン)。ウィーン国際音楽文化協会理事長(東京)。やまなし大使。2022年オーストリア大統領よりオーストリア共和国有功名譽賞叙勲。

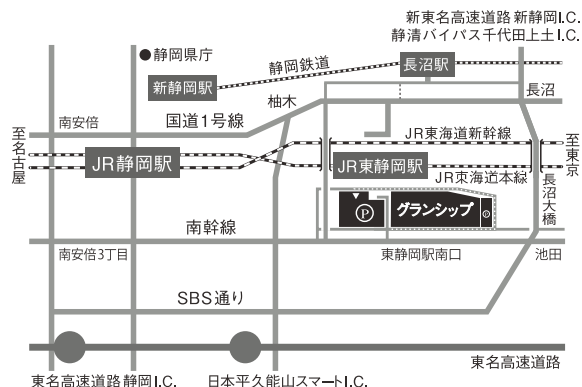
交通アクセス

- ・JR東静岡駅南口隣接。
 - ・静岡鉄道長沼駅徒歩10分。
 - ・東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
 - ・車で、東名高速道路静岡ICから20分。日本平久能山スマートICから10分。
 - ・新東名高速道路新静岡ICから15分。静岡バイパス千代田上土ICから10分。
- ※公演当日は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。

車椅子でご来場の方は公演前日までにご連絡ください。

託児サービス(無料、2歳以上の未就学児)をご希望の方は公演2週間前までにご連絡ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

【車椅子でのご来場及び託児サービスのお問い合わせ】
(公財)静岡県文化財団 文化事業課 TEL054-203-5714



GRANSHIP
Private Concerts & Club

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団
<https://www.granship.or.jp>



芸術祭